

東日本大震災復興支援

生活支援相談員ニュースレター～VOL. 31～

平成30年7月発行

【発行】

社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会 地域福祉企画部 コミュニティ振興グループ
岩手県盛岡市三本柳 8-1-3 ふれあいランド岩手内 TEL:019-601-7042 FAX:019-637-7532

沿岸・内陸の支援者が集まり、今後の支援の方向性を検討

平成30年5月29日（水）、ふれあいランド岩手で、第1回被災者支援沿岸・内陸連絡会議を開催しました。沿岸及び内陸の被災した方々の現状や課題を共有し、個別支援や地域支援の今後の方向性を



検討することを目的に、沿岸、内陸の市町村社協の生活支援相談員、統括担当者、もりおか復興支援センター職員等49名が参加しました。

午前中は、被災者生活設計アドバイザーの戸田節子氏を講師に、被災者の抱える経済的な課題や、県の被災者設計アドバイザー制度について学びました。

参加者からは、「FP（ファイナンシャルプランナー）が身近なものだと理解できた」、「今後、必要な場

面で被災者へ情報提供し、FPへつないでいきたい」、「再建についての悩み等、相談することを勧めたい」等の感想がありました。

午後は、本会から調査研究の取組と支え合いマップマニュアルについて説明し、その後、グループごとに、各市町村の現状や課題、今後の被災者支援の方向性について情報交換しました。



参加者からは、「内陸部の被災者支援に関する課題や悩みを共有し、沿岸部の活動事例を紹介できた」、「内陸の災害公営住宅の状況や、内陸から沿岸に戻った被災者の情報共有ができた」等の感想があり、沿岸・内陸それぞれの課題や悩みを共有しました。また、被災者へ個別支援をしながら地域支援活動へと支援を展開、継続していくという生活支援相談員の役割の方向性について確認しました。

ファシリテーター勉強会～住民同士の合意形成を促す話し合いの進め方～

平成30年6月28日（木）、ふれあいランド岩手で、住民同士の合意形成を促す話し合いでの、進行役・記録役の留意点やコツ、心構えを学ぶファシリテーター勉強会を開催し、沿岸、内陸の市町村社協の生活支援相談員等31名が参加しました。

講師は特定非営利活動法人いわて連携復興センターの船戸義和氏です。

初めに、災害公営住宅の自治会設立に向けての住民参加の話し合いの動画を見ながら、支援者が進行役・記録役を務める際のポイントについて講義がありました。



その後、6、7人のグループに分かれ、進行役・記録役を2名ずつ決め、自己紹介シートを用いながら、ロールプレイを行いました。

1回目終了後、グループごとに、難しかった点や疑問点を出し合い、船戸氏からアドバイスをもらいました。全体で大事なポイントを共有した後、2回目のロールプレイを行い実践を深めました。

◇難しかった点（疑問点）と船戸氏からのアドバイス◇

- ・ 進行役は（自己紹介の時）どこで合いの手を入れたらよいか。
⇒ その都度質問を入れると良い。グループで会話が膨らみ他の住民も会話に入りやすくなる。
- ・ 話合いの場で沈黙になった場合の対処法は？
⇒ 自己紹介での沈黙はネタが少ないためなので、進行役が会話を広げ進めること。何かを決める場面での沈黙は、考えている時間もある。数分間、進行役も黙っていると住民の誰かが話し始めることが多いので、それまで待つ根気が必要。
- ・ 進行役に答えを求められた時の対応は？
⇒ 誰のための話合いか、主役は誰かを伝えることが大事。また、支援者は、サポートはできるけれど、決めるのは住民であることを伝えること。

参加者からは「ファシリテーターとしての手法やコツが分かった」、「これからコミュニケーション作りに必要なことを学べた」等の声が聞かれました。

最後に船戸氏から、「住民同士の意識が、他人ごとから自分ごと、そして私たちごととして何かをしなければと変化していくことで、住民同士の合意形成へつながっていく。支援者として住民の関係をつなぐこと（人づくり）は大事な役割であり、目標でもある。」との話がありました。



内陸災害公営住宅の動き～県営備後第1アパート入居予定者顔合わせ交流会～



平成30年7月22日(日)、盛岡市の県営備後第1アパート9・10号棟入居予定者11名が、もりおか復興支援センター主催のバス見学＆顔合わせ交流会に参加しました。

もりおか復興支援センターに集合後、バスで盛岡市青山町のふれあい覆馬場プラザへ移動し、初めての顔合わせ交流会が行われました。自己紹介の後、岩手県県土整備部建築住宅課から、住宅の設備等の説明を受けました。その後、備後第1アパートへ向かい、工事中の9・10号棟の様子を見学しました。

そして、同じ敷地内で行われていた「月ヶ丘二丁目町内会夏祭り」にも参加し、交流を深めました。

備後第1アパートは、既存の7棟に災害公営住宅3棟が加わった住宅団地で、今回見学した9・10号棟の完成予定は今年10月頃です。